

1 漢字練習をしよう (最初の10分)

- ・漢字ノート p2・3 を続けて練習する。

2 話し言葉と書き言葉の学習をしよう (35分)

- ① 教科書 p 89・90 を読む。

目標 話し言葉と書き言葉の特徴をつかおう。

イントネーション・プロミネンスの効果と、アクセントの特徴をつかおう。

- ② 教科書 p 89 の「確かめよう」をやる。声に出して言ってみる。

- ③ ワーク p 51 をやる。→ 答え合わせ。

文章を書く時には、書き言葉の特徴をとりえて、わかりやすい文になっているか、見直し(推敲)することが大切です。

1 漢字練習をしよう (最初の10分)

- ・漢字ノートP2・3を続けて練習する。
- ・次回5月21日(木)は漢字テストを行います。テストの問題用紙は事前に見ないようにしよう。
- ・テストの日までに漢字練習が終わるように進めよう。

2 「ペンギンの防寒着」の学習をしよう 第一回 (35分)

目標 説明文の基本構造を知る。

・「ペンギンの防寒着」は説明文です。説明文は「はじめ・なか・おわり」の三段構成になっていることは知っていますね？今回はその確認です。

ただし、これからは「はじめ・なか・おわり」を「序論・本論・結論」と言うことにします。

序論	……	問い(問題提起)
本論	……	問いを解決するための説明
結論	……	まとめ

- ・手順
- ① 教科書P32～34を読む。
 - ② 形式段落の番号を振る。全部で8段落になる。
 - ③ 序論(1・2段落)の中で、問い(問題提起)が出ている文に線を引く。
 - ④ 本論には問いを解明する3つの説明が出ている。それは何か、一番短い言葉でそれぞれに線を引く。
 - ⑤ ④の3つの説明の内容を確認する。短い言葉でなく、人に理解してもらえるように「一つ目は○○で、それは○○だからです。」というように声に出して話してみる。
 - ⑥ 結論(8段落)のまとめの部分に線を引く。8段落は一文なので、全部に線を引いてはどこが重要かわからない。文の中の一番重要だと思うところに線を引く。

ペンギンの防寒着

A組 番氏名

序論	本論	結論
<p>問い (問題提起)</p> <p>ペンギンたちはどのようにして寒い [] を [] 。</p>	<p>一つめ []</p> <p>まるで [] のようにつながって、皮膚との間に [] をつくる。</p> <p>羽根のしくみの保温効果は、保温効果全体の [] パーセントになる。</p> <p>疑問 (反論)</p> <p>まだしっかり羽根の生えていない [] の場合はどうなるのか？</p> <p>二つめ []</p> <p>約 [] キングペンギンのヒナの場合は、体重の [] パーセントの脂肪層が保温効果の主役となる。</p> <p>三つめ []</p> <p>さらに、例えば、成長のエンペラーペンギンは、厚さ [] センチメートルの脂肪層のおかげで [] の中でも子育てができる。</p> <p>冷たい [] で餌をとるときにも熱を奪われない。</p>	<p>まとめ</p> <p>ペンギンは [] 。</p>

↑ 比喻

↑ 具体例

↑ 疑問を出し

てよく考え

てみる

↑ 具体例

↑ 具体例

※ 番号付け…… 「一つ・二つ」以外にも、「最初に・次に」「まず・さらに」などの言葉でも、話の流れを順を追ってわかりやすく伝えることができる。

問い 結論の「脂肪層、皮膚、空気層、羽根、羽根に塗られた脂」はなんの順で並んでいますか？ 答え：

初めに タイマー (時間がわかるもの) を用意する

1 漢字テスト (最初の5分)

- ・漢字のテストプリント1をやる。丁寧に書こう。
- ・5分後、赤で自己採点をする。間違えた字は赤で直す。(5分)

2 「ペンギンの防寒着」の学習をしよう 第二回 (35分)

目標 説明文をわかりやすくする工夫を知る。

・前回は「ペンギンの防寒着」の基本構造を学習しました。今回はさらに、説明文をわかりやすくするためにどんな工夫がされているのかを学習します。

- ・手順
 - ① 教科書 p 32 ～ 34 を読む。
 - ② プリント「ペンギンの防寒着」の空欄を埋めて完成させる。
 - ③ プリントと教科書を見ながら、番号付け、具体例、比喩、反論などを出すことで、読者が理解しやすい工夫がされていることを確認する。
 - ④ ワークシートをやる。↓答え合わせ。